

# 図書館だより（千葉点字図書館）

2025年(令和7年)1月号(通巻第462号)

編集・発行 社会福祉法人 千葉県視覚障害者福祉協会  
視覚障害者総合支援センターちば  
千葉点字図書館

〒284 - 0005 千葉県四街道市四街道1丁目9番3号

電話：043-424-2588

E-Mail(貸出)：[kasidasi@tisikyo.jp](mailto:kasidasi@tisikyo.jp)

## 目次

1. 時の流れには逆らえません、自虐的な新年のご挨拶
2. お知らせ
  - ・センター休館日
  - ・視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」全面停止について
  - ・センターからのお知らせ
  - ・シネマデイジー体験会のご案内
  - ・IT支援からのお知らせ
  - ・購入雑誌のご案内
  - ・寄贈資料のご案内
3. 新入図書を紹介
4. おすすめ図書を紹介
5. 墨字図書出版情報(朝日新聞 2024.12.14)
  - \*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています
6. ニュース・新聞記事から
  - ・「盲導犬と地球を歩く(内田素子著)」(千葉日報 2024.8.24)
  - ・「合理的配慮」の手引(千葉日報 2024.9.4)
  - ・見えないことが強みになる仕事(朝日新聞 日刊 2024.9.27)
  - \*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。
7. 地域情報
  - ・健診で自分自身を定期点検(ゆるり 2024年11-12月号)
  - \*記事の内容については、著作権の関係で割愛しています。

# 1. 『時の流れには逆らえません、自虐的な新年のご挨拶』

所長 川崎 弘

新年を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。お変わりございませんか。本年もどうぞよろしくお  
願い申し上げます。

さて、年の初めからやや軽め的话题で恐縮ですが、女流作家・<sup>なぎら</sup>風良ゆうさんのBL (Boys Love) 小説を興味本  
位で立て続けに3冊読んでみました。風良ゆうさんは2020年に『<sup>るろう</sup>流浪の月』、2023年には『汝、星のごとく』  
で本屋大賞を受賞されています。これらの作品についてはそれぞれ2020年5月号と2023年5月号で触れま  
したので、ここでは割愛します。

驚いたのは、この純文学の名手が、実はポルノ小説の分野で名を馳せていたことです。今回読んだのは、徳間  
書店キャラ文庫の『美しい彼』シリーズ1～3巻です。なお、サピエ図書館には点字データは1巻のみ、音声  
デジターは1～3巻まで登録されています。ただし、ポルノに分類されていますので、ジャンル検索や詳細検  
索で「ポルノ」を指定しないと書名に行き当たりませんのでご注意ください。

物語は主人公たちが高校生から大学生へと成長していく中、その生々しい描写がR18指定の理由となってい  
るのでしょう。40年以上前の自分を思い返しながらか、懐かしさと共に少し恥ずかしい気持ちにもなりました。  
また、女性作家がここまで少年の繊細な感情を描ける背景には何があるのかと、つい余計な勘ぐりをしてしま  
いました。

同性愛については、まだ理解が及ばない部分もありますが、昨今「同性婚を認めないのは違憲」という判決が  
出る時代です。この件についての個人的な思いもありますが、不用意な発言は炎上の元ですので控えます。

また、夫婦別姓に関する議論では、子供の姓の問題が十分に議論されていないように感じます。古い家制度は  
なくなりましたが、人間関係の在り方がますます希薄になっているように見え、危惧しています。

さらに、呼称の問題についても、例えば「川崎君」のような「君付け」が男女差別を助長するとして、「さん」  
に統一する動きがあります。私自身、今でも同級生や同期、先輩から「君」と呼ばれるとむしろ親しみを感じ  
ますが、後輩を「さん付け」するのには違和感があります。とはいえ、時代の流れには従わざるを得ないのか  
もしれません。年を重ねるごとに、一抹の寂しさを感じることもあります。

肩が触れただけで刺されるような殺伐とした世の中は、誰も望んでいないはずで、現代の選択が未来に禍根

を残さないよう、慎重に考え行動していきたいものだと、年頭に思う次第です。さだまさしさんの言葉ではありませんが、「意見には個人差がありますのでご容赦ください」。

年が新たまりましたが、私自身はなかなか新たまることができません。それでも、本年も皆様のお力添えをいただきながら、私たち職員一同、より良い施設づくりを目指して努力してまいります。どうぞ変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 2. お知らせ

### センター休館日

1月の休館日は次のとおりです。

- 10日（金） 図書整理日（貸出の対応を終日休止）
- 17日（金） 職員会議のため13時30分以降休館。

### 視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」全面停止について

全面停止期間が短縮されました。詳細は以下の通りです。

1. 全面停止期間 2025年2月5日（水）午前9時～2月14日（金）午前11時

- ・サピエサービスが全て停止します。
- ・貸出は自館所蔵の図書のみ可能です。
- ・他館からの取り寄せやSDカードダウンロードサービスは利用できません。

2. 一部機能停止期間 2025年2月14日（金）午前11時～2月26日（水）午前11時

一部サービスが再開され、オンラインリクエストや他館からの取り寄せが可能になります。

ただし、SDカードダウンロードサービスは利用できません。

3. 再開スケジュール

デジタイズオンラインサービスとコンテンツダウンロードは、2月26日（水）午前11時に再開します。

また、『SDカード貸出サービス』の10タイトルは2月中も利用可能ですので、ぜひご利用ください

（詳しくは図書館だより12月号をご参照ください）。

### センターからのお知らせ

教養講座のご案内（参加費無料）

視覚障害者生活支援事業 教養講座

日時 令和7年2月15日（土）午前10時から12時（予定）

会場 視覚障害者総合支援センターちば 5階 会議室

内容 Uni-Voice Blind アプリについて（耳で聴くハザードマップ体験）

募集期間 令和7年1月15日（水）から2月7日（金）

お申込み・お問い合わせ 千視協事務局 電話 043-421-5199

## シネマデイジー体験会のご案内

シネマデイジーの体験会を開催します。

シネマデイジーとは、音でみる映画・テレビドラマで、主音声に、登場人物の動きや背景等の音声解説を加えてデイジー化したものです。

千葉点字図書館では、音訳者のグループ「キネマどるちえ」が、「仁 完結編」の製作に取り組んでいます。

この度、第一話が完成しました。

好評をいただきました「仁」の続編になります。

臨場感あふれる音の世界を体験してみませんか？

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

前作を貸出することもできます。

日時：2025年3月31日（月）10:00～12:00

場所：視覚障害者総合支援センターちば 5階 会議室

作品：「仁 完結編 第一話」

出演 大沢たかお、綾瀬はるか ほか

参加申込・問合せ先：貸出（電話 043-424-2588）

## IT支援からのお知らせ

SDカードとインターネットを活用した読書セミナー

視覚障害者の読書スタイルは、サピエ図書館を通じて新たな形へと進化しています。音声図書や点字図書の利用も、従来の点字図書館から直接借りるスタイルから、インターネットで手軽にダウンロードできるスタイルへと変わり始めています。

皆さんは、SDカードやインターネットを活用した新しい読書方法をご存じでしょうか？「SDカードに触れたことがない」「どうやってSDカードに図書を入れるのか？」「Wi-Fiって何？」「インターネットにどうやって繋げるの？」といった疑問をお持ちの皆さまに向けて、わかりやすく使い方を解説します。

日時

2025年3月15日（土） 10:00-11:30

定員 5名（先着順）

会場 視覚障害者総合支援センターちば5階会議室

主な内容

- ・SDカードの種類と特徴
- ・SDカードの取り扱い方（触れて体験）
- ・ワイファイの種類と特徴
- ・インターネットのつなぎ方と仕組み
- ・センスプレーヤーでSDカードに図書を保存する・再生する

当日の持ち物

当日はマイクロSDカードおよびマイクロSDカードアダプタをご持参ください。

マイクロSDカードアダプタとは、マイクロSDカードをSDカードとして使用できるカバーのことです。ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせ先

電話 043-424-2546

担当 みその とよだ 御園、豊田

## 購入雑誌のご案内

現在当館では、次の点字、デイジー雑誌を購入しています。  
新規で貸出を希望される方は貸出担当（TEL：043-424-2588）までお申し込みください。

- 点字
- ・週刊新世紀 年5 2回発行 佐賀ライトハウス製作の新聞記事など週刊ニュースをまとめた冊子。
  - ・鍼灸の世界 年1 2回発行 東洋医学、西洋医学、ニューメディアなどに関連する記事を掲載。
  - ・旅 年6回発行 京都ライトハウス製作の旅の魅力を伝える情報やエッセイを掲載。
  - ・テルミ 年6回発行 視覚に障害のある子どもたちを対象にした学習絵本。墨字併記。
  - ・点字ジャーナル 年1 2回発行 理療や福祉の情報その他、スポーツ、旅、グルメ等趣味の話題も掲載。

## デイジー

- ・視覚障害 年1 2回発行 視覚障害に関するテーマ全般。当事者等による特集記事、対談等を掲載。
- ・点字毎日 年2 5回発行 視覚障がいに関するニュースを取り扱っている。
- ・ライト&ライフ 年1 2回発行 身近な生活情報を提供。

## 寄贈資料のご案内

●次の資料が寄贈されました。貸出を希望される方は、貸出担当（TEL：043-424-2588）までお申し込みください。

- ・日本視覚障害者団体連合 発行 『<sup>にほん</sup>点字<sup>にっぽん</sup>日本 (636号)』 1冊
- ・日本視覚障害者団体連合女性協議会 発行 『あかね (120号)』 点字1冊
- ・東京都盲人福祉協会 発行 『点字東京 (338号)』 1冊
- ・東京都消費生活総合センター 発行 『東京くらしねっと (209号)』 デイジー1枚
- ・日本点字図書館 発行 『<sup>にっぽん</sup>ってん<sup>にっぽん</sup>デイジーマガジン (12月号)』 デイジー1枚

●次の資料は差し上げます。ただし部数に限りがあります。

- ・政府広報 発行  
『ふれあいらしんばん (100号)』 点字1冊  
『明日への声 (100号)』 デイジー1枚
- ・全国盲ろう者協会 発行『コミュニカ (69号)』 点字1冊
- ・TBS ラジオ 発行  
『TBS RADIO 点字・拡大文字音声コード番組表 (2024年10月～2025年3月)』 1冊
- ・日本視覚障害者団体連合 発行 『<sup>にほん</sup>点字 厚生 (305号)』 1冊

### 3. 新入図書の紹介

[番号、書名、著者名、冊数、原本出版者、出版年、解説の順に読みあげます。]

#### (点字図書)

##### <一般書>

- ① そとおかひでとし 外岡秀俊という新聞記者がいた おいかわ (及川 ともひろ 智洋 著) 8冊 田畑書店 2024年5月  
[2021年に急逝した外岡秀俊。東大在学中に「北帰行」でデビューを果たしながら、朝日新聞社に入社。以後40数年にわたるジャーナリスト人生を伝えるオーラル・ヒストリー。]
- ② かね 金より価値ある時間の使い方 (アーノルド・ベネット 著, かわい 河合 しょういちろう 祥一郎 訳) 2冊  
KADOKAWA 2023年12月  
[時間をどう使えば限りある人生をよりよく生きられるか。「1晩おきの1時間半がきらめく真珠に」「原因と結果の法則を叩きこめ」など、時代と国境を超え多くの知識人に愛される時間術の名言を新訳で紹介。]
- ③ イギリスの飾らないのに豊かな暮らし365日  
——英国の人たちから学びたい毎日を心地よく過ごすための鍵 えくに (江國 まゆ 著) 4冊 自由国民社  
2022年3月  
[中産階級は外国に興味津々。ジムもファッションの一部。犬の種類で飼い主の性質を見極める。お屋敷を維持するためにすること…。イギリスの人々の日々の暮らしぶりを、1日1項目、365日分紹介します。]
- ④ 現代ベトナムを知るための63章 第3版 (岩井 みさき 美佐紀 編著) 8冊 明石書店 2023年2月  
[ベトナムを多面的に捉え、「等身大のベトナム」の人々を描写。ベトナムの成り立ちからムラとマチ、多層化・多元化する社会、市民社会と政治、経済発展、日本・中国・ASEANとの関係までを解説する。]
- ⑤ 資料日本植物文化誌 (有岡 としゆき 利幸 著) 13冊 八坂書房 2005年4月  
[縄文時代から現代まで、数々の資料を取り上げて、日本人の暮らしと文化と植物のかかわりを探る。松・竹・梅から山菜まで、掘り起こされた話題を満載。植物と文化を再発見してみませんか?]
- ⑥ にほん 日本のクラシック音楽は歪んでいる——12の批判的考察 (森本 ゆきまさ 恭正 著) 3冊 光文社  
2024年1月  
[これまで日本で検証されてこなかったクラシック音楽の「真実」とは一。日本人は何を見逃し、聴き逃してきたのか。作曲家・指揮者として活躍する著者が20年を超える思考の上に辿り着いた、西洋音楽の本質を示す。]

<文学書>

- ⑦ 出世と恋愛——近代文学で読む男と女 (斎藤 美奈子 著) 4冊 講談社 2023年6月  
[古今東西の文学が描いてきた「出世と恋愛」。しかし日本の文学に描かれた男女の恋はなぜか行き違い結ばれない。そして描かれる青春と恋愛はワンパターンである。その謎を抜群のセンスと慧眼で知られる文芸評論家が解き明かす。]
- ⑧ 婚活するなら俺にすれば?——エリート社長はカタブツ秘書を口説き落としたい (加地 アヤメ 著) 4冊 ハーパーコリンズ・ジャパン 2024年1月  
[若手のイケメン社長、雲雀司の秘書をしている清花は、地味で堅物だと言われ男性に縁がないのが悩み。誕生日を機に婚活を始めようとしたが、雲雀にばれて俺にすればと立候補されてしまう。ずっと清花が好きだったという雲雀は甘く優しく距離を詰めてくるが、意識し始めると彼が女性にもてるのが気になり!?)]
- ⑨ 盗作・高校殺人事件 新装版 (辻 真先 著) 3冊 東京創元社 2023年7月  
[新宿駅のホームで起きた大惨事。その直前、向かいのホームにいとこの幽霊を見たという三原恭助に誘われ、被害にあった三組の高校生カップルが鬼鍬温泉を訪れたとき、地元に伝わるむかしばなしを髣髴させる事件が勃発し、お馴染みスーパーとポテトの活躍が始まる。]
- ⑩ 友達の後ろで君とこっそり手を繋ぐ。誰にも言えない恋をする。2 (真代屋 秀晃 著) 4冊 KADOKAWA 2022年6月  
[親友5人組の関係は、夏が過ぎた今でも何一つ変わっていない。そう、少なくとも表面上は。]
- ⑪ オベリスクの門 (N. K. ジェミシン 著, 小野田 和子 訳) 8冊 東京創元社 2021年9月  
[ついに〈第五の季節〉が訪れ、破局的な地殻変動が超大陸を襲う。父親に連れ去られた娘を追う母エッスは地下都市カストリマにたどり着き、意外な人物と再会し…。〈破壊された地球〉3部作の第2弾。]
- ⑫ 伯爵夫人はスパイ (アーリーン・ロマノネス 著, 小泉 摩耶 訳) 6冊 講談社 1991年4月  
[アーリーンは元モデルのアメリカ女性でCIAのスパイ、第2次大戦中スペインにおけるナチスの活動を探る任務についていた。やがてスペイン貴族と出会い結婚、スパイ稼業から足を洗うが……。自伝的スパイ・ノンフィクション。]
- ⑬ アンネの日記——言葉はどのようにして人を救うのか (小川 洋子 作) 2冊 NHK出版 2022年9月  
[アムステルダムでユダヤ人狩りを逃れ、隠れ家で暮らした日々を綴った「アンネの日記」。歴史的な記録として高い価値を有するのみならず、優れた文学作品として読み得る。作家ならではの視点で不朽の日記文学をひも解く。]

<児童書>

- ⑭ 水辺のワンダー ——世界を旅して未来を考えた (橋本 淳司 作) 2冊 文研出版 2022年6月  
[世界各地の水辺を旅しながら、水と人の暮らしの実態を伝えてきた著者。気候変動による影響、水害による甚大な被害など、様々な事例から、自分たちの暮らしと水についていかに考え、そして行動を起こすのかを伝える。]
- ⑮ だいじょうぶくん (魚住<sup>うおずみ</sup> 直子<sup>なおこ</sup> 作) 1冊 ポプラ社 2022年3月  
[新しいクラスになじめないそうたが出会ったのは、人と話ができるぬいぐるみの「だいじょうぶくん」。離ればなれになった持ち主のまりちゃんを、一緒に探してほしいと頼まれて…。]
- ⑯ ねことわたしのまほうの日 (かわしま えつこ 作) 1冊 ポプラ社 2022年7月  
[鉄棒が苦手なまいは、体育がある日は学校に行きたくありません。満月の夜、まいが「ねこのクウになりたい」と思うと、本当にクウと体がいれかわってしまいました。平気で学校に行くクウを、まいは心配でついていきますが…。]
- ⑰ クーちゃんとぎんがみちゃん——ふたりの春夏秋冬 (北川<sup>きたがわ</sup> 佳奈 作) 1冊 岩崎書店  
2022年2月  
[カカオの町にくらす、板チョコのクーちゃんと仲良しのぎんがみちゃん。春は散歩と贈り物、夏は海水浴、秋は落ち葉を踏みしめて踊り、冬はがらがらを引きに商店街へ…。ふたりのとろけるような楽しい毎日のお話。]
- ⑱ コトノハ町はきょうもヘンテコ (昼田<sup>ひるた</sup> 弥子<sup>みつこ</sup> 作) 1冊 光村図書出版 2020年3月  
[ことわざや慣用句などのことばどおりのことが起こるコトノハ町。そんなちょっぴりヘンテコな町にすむ、小学生レンちゃんのゆかいなお話。]
- ⑲ 妖怪コンビニ 店長はイケメンねこ! (令丈<sup>れいじょう</sup> ヒロ子 作) 2冊 あすなろ書房 2022年7月  
[2週間前に千鳥マンションに引っ越してきたばかりのアサギは、コンビニクッキングが大好き。近所にコンビニは3軒のはずが!? 一見、住宅地のただの空き地だけど、実は選ばれし者だけに見える不思議なコンビニには…。]



## (音声ダイジェスト)

### <一般書>

- ① ちゃんと「読む」ための本——人生がうまいくにひやくさんじゅういち 2 3 1 の知的習慣 (奥野おくの 宣之のぶゆき 著)

(8:38) PHP研究所 2023年5月

「ちゃんと読む」ことで、思考は深まる。そして、もっと自由で豊かな世界を持つことができる。情報整理の達人がそのためのノウハウや習慣を紹介する。]

- ② シャンカラ (島しま 岩いわお 著) (10:05) 清水書院 2015年9月

「インド哲学史上最大の哲学者シャンカラ。彼の思想を紹介しつつ、ヒンドゥー教、インド哲学、シャンカラ、この三者の関係などを明らかにする。]

- ③ ミダース王 (西澤にしざわ 龍生りゅうせい 著) (9:46) 清水書院 2016年9月

「触れる物が黄金になるよう願う物語と、ロバの耳を付けられてしまう物語とで知られる、ミダース王。この2つの物語から、虚実の間を漂う彼の姿に迫る。]

- ④ ペトロ (川島かわしま 貞雄 著) (11:47) 清水書院 2014年9月

「初期キリスト教の成立と発展の歴史において無比の役割を演じたペトロ。彼が生きた世界を概観し、諸史料を手掛かりにその生涯をたどる。]

- ⑤ 刑法の時間

(佐久間おさむ 修, 橋本 正博 編, 岡部 雅人, 嘉門かもん 優, 南みなみ 由介, 森永まさつな 真綱 著) (10:28)

有斐閣 2021年4月

「刑法について解説した入門書。大学の授業や議会でのやり取りなど、様々なシーンを取り上げて、専門用語をなるべく使わずに、「刑法とは何か」に迫る。]

- ⑥ 花はふしぎ——なぜ自然界に青いバラは存在しないのか? (岩科いわしな 司つかさ 著) (8:09) 講談社

2008年7月

「訪花動物による効率のよい受粉に、大きな役割を果たしている花の「色」。近年、化学的な分析により明らかになってきた花の色発現のしくみとは? 特性や進化、環境への適応戦略など、知られざる花のふしぎと魅力を解き明かす。]

- ⑦ 甲状腺の病気といわれたら——バセドウ病・橋本病・甲状腺腫瘍  
にしかわ みつしげ あかみず たかし  
 (西川 光重, 赤水 尚史 編著, 宮内 昭 監修) (5:17) NHK出版 2022年4月  
 [甲状腺の病気は、実は身近で、多くは適切な治療を受ければ健康な人と同じように生活できる。甲状腺の病気についての基本的な知識から新情報、日常生活での留意点までを、甲状腺専門医療チームがわかりやすく解説する。]
- ⑧ がん経験者のリアルな生活——「恋愛・仕事・お金」の悩みと上手につきあうヒント きしだ (岸田 徹 著)  
 (5:04) 翔泳社 2023年10月  
 [治療の過程や副作用、仕事、恋愛、容姿、食事、メンタル…。“がんになった後悩む事”について、がん経験者にインタビューをし、それぞれの経験を紹介。]
- ⑨ スパイ“ベラスコ”が見た広島原爆の正体——嵌められた日本と世界を支配する見えざる帝国  
 (高橋 五郎 著) (10:57) 学研 2006年7月  
 [欧米各国の2重、3重スパイとして工作をしてきた男、ベラスコはいう。広島原爆はナチス・ドイツが開発したものだ、と。封印された裏の歴史と国際情勢の真実を、彼の遺言となった手紙とともに明らかにする。]
- ⑩ バラバラ家族のぬくもりごはん——電子レンジで簡単おいしい! (坂口 もとこ 著) (3:21)  
 ダイヤモンド社 2024年3月  
 [みんな忙しくて家族のご飯がバラバラでも、急に「お腹すいた」となっても大丈夫! 電子レンジで時短&簡単に作れて、家族の心も体も温まる、1~2人分の定番料理71品を紹介します。]
- ⑪ はじめてのアラブごはん——手軽に作れるエキゾチックレシピ62 (小松 あき 著) (3:25)  
 イカロス出版 2022年6月  
 [レンズ豆のスープ、ラムの串焼き、揚げ魚の炊き込みごはん、ひよこ豆のコロッケ…。アラブの国々で食べられている家庭料理などのレシピ62品を紹介。]
- ⑫ 3月のライオン 17 うみの (羽海野 チカ 著, せんざき 先崎 学 将棋監修) (2:58) 白泉社 2023年9月  
 [島田研の弟分同士であり、ライバルである二人の、白熱の対局。奇策と取れるような手を繰り出す零れいに対し、あくまでも堅実に正攻法を行く二海堂。いつだって、そばに居た。少しでも長く、この時間をどこまでも。熱すぎる勝負の行方は、果たして…! ?]

⑬ 14歳からの映画ガイド——世界の見え方が変わる100本

(河出書房新社 編, 朝井 リョウ ほか 著) (6:12) 河出書房新社 2023年9月

[映画監督・脚本家・デザイナー・科学者…。様々な分野で活躍する25人が“14歳に観てほしい映画”を案内。3つのテーマに分けて、約100作品を紹介する。]

<文学書>

⑭ ファラオの密室 (白川 <sup>しらかわ</sup> 尚史 <sup>なおふみ</sup> 著) (8:23) 宝島社 2024年1月

[紀元前1300年代後半、古代エジプト。死んでミイラにされた神官のセティは、心臓に欠けがあるため冥界の審判を受けることができない。欠けた心臓を取り戻すために地上に舞い戻り、自分が死んだ事件の捜査を進めるが…。]

⑮ いも殿さま (土橋 <sup>どばし</sup> 章宏 <sup>あきひろ</sup> 著) (6:59) KADOKAWA 2021年8月

[引退を控える旗本・井戸平左衛門は、町奉行のおおおかただすけの大岡忠相から、飢饉と悪政に喘ぐ石見銀山の地に行くよう命じられる。旅の果てにたどり着いた石見の土地は、想像を絶する悲惨な状況だった…。今も愛される「名代官」の物語。]

⑯ フォトミステリー (道尾 <sup>みちお</sup> 秀介 <sup>しゅうすけ</sup> 著) (1:15) ワニブックス 2023年7月

[ミステリー、SF、ホラー…。写真と文章を組み合わせて作られた、あたらしい物語。全50編を収録したショートショート集。]

⑰ 大江戸科学捜査八丁堀のおゆう (山本 <sup>やまもと</sup> 巧次 <sup>こうじ</sup> 著) (11:06) 宝島社 2015年8月

[江戸の両国橋近くに住むおゆうが、薬種問屋をめぐる殺人事件と闇薬の裏流しについて調査を開始する…が、彼女の正体はアラサー元OL・関口優佳 <sup>せきぐちゆうか</sup>。家の扉をくぐって江戸と現代を行き来しながら事件の真相に迫る!]

## 4. おすすめ図書の紹介

『猫を処方いたします。』 石田 祥 著 PHP研究所 2023年

今回もまた、猫好きが選んでしまった、表紙に猫イラストの本をおすすめします。

連作短編集で、京都の裏路地にある不思議なメンタルクリニックへ行く患者のお話。そのクリニックでは、薬ではなく本物の猫が処方されます。猫を服用していくうちに、彼らの心のもつれが猫を通してほどけていく。涙したり、ほっこりしたり、人間と猫目線の考え方の違いにハッとさせられることも。「猫は百薬の長で、たいいていのことは猫で治りますから」と言う医者に「そうよね」と思ってしまう。ファンタジーでスピリチュアルでもある、最後に近づくにつれ面白さに引き込まれながら、昔飼っていた猫を思い出す一冊です。

のぞみ 櫻田

『凍りのくじら』 辻村 深月 著 講談社 2005年

主人公の女子高生・薫が自殺を考えていたところ、同じく自殺を考えていた男子高生・葵と出会うことから始まります。彼らは共感し合い、お互いのささえとなります。

ある日、薫は祖母から「未来からやってきたロボット猫のドラえもんが、彼らを助けるための秘密道具を持ってる」という話を聞きます。興味津々の薫と葵は、ドラえもんの秘密道具を使って自分たちの現状を打破しようと決意します。

彼らは、ドラえもんの道具の一つである「時間カメラ」を使用し、自分たちの未来をのぞきます。そこで見たのは、自分たちが生き抜き、克服している姿でした。その姿を見たことで、薫と葵は自分たちにも未来があり、希望を見出せることを感じます。

薫と葵は、ドラえもんの道具を通じて自分たちの内面と向き合い、過去の傷を癒し、新たな可能性を見つけるたびに出ます。彼らは、困難な試練に立ち向かいながら真の友情と愛を発見します。

物語の終盤で、彼らは自殺を回復し、再生することに成功します。ドラえもんの道具が直接的には登場しなかったものの、彼らが道具を通じて得た勇気や希望が、彼らの成長と心の癒しを促したのです。

この本は、ドラえもんの秘密道具によって主人公の心境の変化があり、とても勇気づけられたお話でした。是非、読んでください。

のぞみ 大矢

『ハリー・ポッターと秘密の部屋』 J・K・ローリング 著 静山社 2000年

2年生になったハリーたち。この作品ではクモの大群や大蛇が登場したり、屋敷しもべ妖精が現れたりします。空飛ぶ車で飛行するシーンはスリル満点で、前作以上にスピーディな展開が多かったです。ハリーが蛇語を話せること、謎の日記が後のキーアイテムになるとは、想像もしませんでした。ハーマイオニーは途中からある事情によって行動できなくなり、ハリーとロンの2人が事件解決に向けて動き出す模様をお楽しみください。

のぞみ 深澤